

◎新しい時代の農業を見つめる若い力

十日町市の恵まれた 自然を活かして、 新しい農業のあり方を 追求しています。



新しい農業のあり方を
求めて、花水農産は
生まれました。

米づくりを生業にしていた私の
父親は昔からチャレンジ精神が旺
盛で、ライスマシターなどの施設
や機械の共同利用をはじめとす
る共同経営によるスケールメリッ
クを模索している中で、新しい農
業のあり方を求めて自分と会社
を立ち上げるようになったんです。

いまでは、信濃川沿いを中心に、
請負を含めて毎年50〜60町歩の
田んぼでコシヒカリを作るようにな
りました。また、減反対策や農
閑期利用ではじめた大豆や、花
や野菜の園芸作物も加工工場を
作り販路を開拓することで、生
産・加工・販売の複合的な仕組

みができて、経営も安定してき
ました。家族と親戚7、8人で
始めたの会社も、いまでは35人
と大所帯になってきました。

これからも味と品質に
こだわり、新しい農業に
チャレンジします。

花水農産では、十日町の恵ま
れた自然環境の中で、「土にこだ
わり、本物を作る、安全な食を
守り続ける」をモットーに、生
産から加工販売まで自社で行っ
ています。本業のコシヒカリや園
芸作物の生産では、有機質肥料
を使い化学肥料を減らし、味と
品質にこだわっています。また、
大豆を使った豆腐製品や米粉や
おからを使ったお菓子、越後姫の

ジャムなどの加工販売も軌道に
乗り、地元のみなさんを中心に
好評を得ています。

会社の基礎固めは父親がやっ
てくれました。これからは私たち
若い世代が頑張らなくてはと思っ
ています。今後は若手を育てて、
米づくりを中心に質の高い生産
物を安定供給できるようにみんな
でレベルアップを図っていきたいで
すね。



1.山から採ってきたまき用の笹を、家族
みんなで洗って束ねています。2.先輩と
して、母校の農業大学校からの研修生を
積極的に受け入れています。3.「みやう
ち」ブランドの豆腐製品、米粉やおからを
使用したお菓子、切り餅や手作りジャム
など、生産から商品開発・加工・販売まで、
自社で行っています。



有限会社花水農産 生産部主任 宮内隆和(たかのり)さん

十日町市中卒在。高校卒業後、巻にある農業大学校で農業を学び、農家を継ぐと決意。父親の経営する有限会社花水農産に入社し、さらに家業を広げ、平成17年には新潟県農林水産業総合振興事業の指定を受け、コシヒカリのほかに、いちご(越後姫)、大豆、ユリ、トマト、ナス、かぼちゃなどを生産。また、みやうちの豆腐(自社工場)や直売所「農家の店 あぜみち」での加工販売など、有機栽培・地産地消にこだわった農業ビジネスを展開しています。

◎Young blood focusing on new generation of agriculture.

Seeking the correct course for new agriculture by capitalizing on Tokamachi's rich nature.

Mr. Takayori Miyachi is in charge of the production department at Hanamizu Nosan, Ltd. After graduating from high school, he studied agriculture at an agricultural college and was determined to become successful as a farmer. Mr. Miyachi then joined Hanamizu Nosan, Ltd., which is run by his father.

Since being designated in 2005 as a Project for Promotion of Farming, Fishing and Forestry in Niigata Prefecture, the company has produced Koshihikari rice, strawberries (Echigo-hime), soybeans, lilies, tomatoes, eggplants, pumpkins, and so on. There is also being developed a diversified agricultural business based on organic farming and local production for local consumption, with manufacturing and sales at "Miyachi no ToFu" (the company's own factory) and the "Azemichi Farm Shop" direct sales point.

◎注目新时代农业的年轻力量。

运用十日町市丰富的大自然，追求新农业应有的方法。

宮内隆和(Takayori Miyachi)是有限公司花水农产的生產部主任。高中毕业后，在位于巻的农业大学校学习农业。并下决心接班开展农业事业。因此进入了父亲经营的有限公司花水农产。

2005年有限公司花水农产被指定为新潟县农林水产业综合振兴事业，除了生产越光(Koshihikari)大米之外，还生产草莓(越后姬)、大豆、百合、番茄、茄子、南瓜等。此外，还在“宮内豆腐”(公司自有工厂)和直销所“农家之店 畦道(Azemichi)”进行加工销售等。从多个领域开展以有机栽培、自产自销为目标的农业商务。

新潟県農林水産業 総合振興事業

地域資源の商品化やその販売促進など中山間地域の特性を活かした特色のある農林水産業の振興を県・市町村が一体となって総合的に支援するものです。機械・設備などのハード面から、技術習得のための研修や技術指導などのソフト面まで、地域に根ざした新しい農業を目指す農業経営者をサポートします。

